２０１７年　　７月　　２３日

主　日　礼　拝

	①８時半～	②１０時半～	③夜７時～
司　　会	①石井師	②石井　秀人兄	③石井師
奏　　楽			
祈　　祷	①石井師	②白川　達男兄	③石井師
賛　　美	聖歌 466 番　＆「主よ、捧げます」		
ヤベツの祈り			
聖　　書	①使徒行伝２０章１７～２４節		
	②ヨハネによる福音書４章５～１４節		
特別賛美	「ああめぐみ！」〔青木姉･小山姉･洋子姉･政枝姉･松岡姉〕		
メッセージ	①「一流人が三流人」大川　従道牧師		
	②「永遠のいのちの水」石井　潤牧師		
献　　金	聖歌570番「雨を降り注ぎ」		
祝　　祷			［献金当番：青木姉・寺澤(千)姉］
お知らせ			【司会者】
賛　　美	「喜びがある」		

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！

《今週のお知らせ》

１．本日午後１時～、西田先生のご指導による聖歌隊の練習がなされます。

２．今週の祈り会は、①火曜朝６時～、早天祈祷会。②木曜午前 10 時半～、ボーマン･ルリ子先生。③夜７時半(大和祈祷会)。④土曜夜８時、準備祈祷会。

３．28(金)夜７時防災センター２階「Youth Club Up 集会」(高校生以上の若者対象の超教派集会)。ゲストに Migiwa さん。若者伝道のためお祈り下さい。

４．来週日曜午後は、映画「きみが還る場所」を上映します（昼食各自持参）。

５．半年守られたことを感謝して「上半期感謝献金」をお捧げ致しましょう。

７/31(月):長野家庭集会　８/６(日):バーベキュー大会 in 古城緑地広場

一年に一回聖書を完読できる！*Bible Reading Plan*〔7/23～/30〕

Date	本日		月		火		水		木		金		土		日	
旧約	詩篇 38－40篇		41－43篇		44－46篇		47－49篇		50－52篇		53－55篇		56－58篇		59－61篇	
新約	使徒行伝 23:12－35		24章		25章		26章		27:1－25		27:26－44		28:1－15		28:16－31	
チェック	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新

「永遠のいのちの水」

～アルゼンチン宣教師在原繁先生のメッセージから～

イエスは女に答えて言われた、「この水を飲む者はだれでも、またかわくであろう。(413)」

人間世界で「喜び」について考える時、主イエス様のこの言葉は、なんと人を目覚めさせることでしょう。それは、地上の泉からいくら飲んでも、人は渇くという事です。たとえば、「富」という泉を腹いっぱい飲んでみても、その保証はつかの間です。また、世の「名声」という泉を飲んでも、渇きは直ちに戻ってきます。「享楽」という泉も同じで、満足は一時的であり、また直ぐに渇きます。「健康が一番、これこそ何よりも幸福だ」と人は言います。それは確かに言えることです。しかし、病気になった時には哀れです。では最も崇高なる「人間愛」の泉はどうでしょう？

配偶者や友人が一緒にいる場合は幸福と言えますが、離別なり死別が訪れた日には絶望の底に投げ込まれます。ですから人間愛も限界があり渇いてしまいます。しかし主イエス様は「わたしが与える水を飲む者は、決して渇くことがない」と言われました。

「しかし、わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがるであろう(414)」

ここで、主イエス様が与えようとされる水とは、いったい何なのでしょうか。答えは、ヨハネ7章37～39節に見ることができます。

祭の終りの大事な日に、イエスは立って、叫んで言われた、「だれでもかわく者は、わたしのところにきて飲むがよい。わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう」。ヨハネ7:37・38

ここに、イエス様がお与えになる水とは「聖霊」である(39節)ことが解ります。すなわち聖霊を受け取り、内に臨在される人は「永遠」に満たされて渇くことがないということです。

天来の喜びとなるその「源」を「自分の内」に有する人の生涯こそ、本当に素晴らしいものだと言えるわけです。「喜びの源」が環境や持ち物に左右されるのではなく、自分の心の内にあるからです。人の心の内から泉が湧き出るとしたら、「幸福」は環境や持ち物とは少しも関係がない事になるからです。これこそ、主イエス様を信じる者(クリスチャン)に与えられた、言葉に尽くせない栄光に満ちた経験ではないでしょうか。

ヨハネ4章に「サマリヤの女」が登場します。「同じ仕事の繰り返しに疲れ果て、快楽や結婚に希望を託しても満たされず、日々が空しく過ぎて行く～」と、女は叫んでいます。これを日本的に表現すれば「無常の冷たい秋雨に一人打たれて・・アア～」と、何やら60年代最後にヒットした流行歌「アカシヤの雨に打たれて」というところでしょうか。いわゆる「絶望」の崖っぷちというものです。そこで、心の真ん中に「ポッカリ」穴が開いた惨めさ心塞がれていた女の前にサッと現れ、その叫びに応えたのがイエス様だったのです。*(2017年7月ニュースレターより)*